

# 平成 28 年度 仙台市 防災 会議

## 議 事 録

I 開催日時：平成 28 年 6 月 1 日（水）14 時 00 分から 15 時 17 分まで

II 開催場所：仙台国際センター会議室「橘」

III 出席者：会長 1 名・委員（代理含む）37 名 計 38 名

役 職	職 名	氏 名	備 考
会 長	仙台市長	奥山恵美子	
委 員	仙台市副市長	藤本 章	欠席
”	東北財務局 局長	河野 一郎	代理 佐藤 義伸
”	東北地方整備局仙台河川国道事務所 所長	松居 茂久	代理 高橋 正寿
”	東北経済産業局 局長	守本 憲弘	代理 渡部 義賢
”	東北運輸局 局長	永松 健次	代理 半澤 敏郎
”	仙台管区气象台気象防災部 部長	藤田 司	
”	宮城海上保安部 部長	岩渕 洋	
”	東北農政局 局長	松尾 元	
”	仙台森林管理署 署長	齋藤 哲	代理 岩崎 孝司
”	陸上自衛隊第 22 普通科連隊 連隊長	二瓶 恵司	代理 竹内 仁
”	宮城県 総務部危機管理監	笹出 陽康	
”	宮城県警察 仙台市警察部長	花井 稔	代理 小野寺彰彦
”	東日本旅客鉄道(株)仙台支社 執行役員仙台支社社長	松木 茂	代理 佐藤 竹久
”	東日本電信電話(株)宮城事業部 取締役宮城事業部長	柴田 基靖	代理 芳賀 一夫
”	東北電力(株)仙台営業所 所長	小林 正明	
”	日本通運(株)仙台支店 執行役員仙台支店長	佐藤 武司	欠席
”	日本赤十字社宮城県支部 事務局長	本木 隆	
”	日本放送協会仙台放送局 局長	西村 睦生	
”	東日本高速道路(株)東北支社仙台東管理事務所 所長	岩崎 伸一	代理 阿部 重雄
”	東北放送(株) 報道制作局長	佐々木一則	
”	(株)仙台放送 報道局長	佐藤 俊昭	代理 菊地 章博

〃	(株)宮城テレビ放送 取締役報道制作局長	佐藤 久朋	
〃	(株)東日本放送 報道制作局長	佐藤 直樹	
〃	(株)エフエム仙台 編成局編成部長	木村 祐二	
〃	(一社) 仙台市医師会 会長	永井 幸夫	欠席
〃	宮城中央森林組合 代表理事組合長	赤間 長男	
〃	仙台市連合町内会長会 会長	吉川 時夫	欠席
〃	仙台市民生委員児童委員協議会 副会長	松本 淑子	
〃	仙台市婦人防火クラブ連絡協議会 会長	八木 彌生	
〃	仙台商工会議所 女性会副会長	荒井美佐子	
〃	(社福) 仙台市社会福祉協議会 会長	山浦 正井	
〃	(社福) 仙台市障害者福祉協会 会長	阿部 一彦	
〃	(公財) 仙台観光国際協会 理事長	渡邊 晃	
〃	(公財) せんだい男女共同参画財団 理事長	木須八重子	
〃	(特非) イコールネット仙台 代表理事	宗片恵美子	
〃	ラジオパーソナリティ	板橋 恵子	
〃	(公財) 宮城県消防協会仙台地区支部長	今野 信一	代理 斎藤 重信
〃	仙台市消防局長	栗村 渉	
〃	〃 教育長	大越 裕光	
〃	〃 危機管理監	佐々木英夫	

#### IV 傍聴者：なし

#### V 議事次第

1. 開 会
2. あいさつ
3. 議 事  
    仙台市地域防災計画の修正について
4. 報告事項
  - ① 平成28年度 仙台市水防計画（案）について
  - ② 避難所運営マニュアル（別冊）大雨時避難・開設編の作成について
  - ③ 津波避難対策の進捗状況について
5. その他
6. 閉 会

#### VI 配付資料

- ・資料 1-1 関東・東北豪雨における対応状況
- ・資料 1-2 仙台市地域防災計画の修正について
- ・資料 1-3-1 仙台市地域防災計画（共通編）修正案 新旧対照表（抄）
- ・資料 1-3-2 仙台市地域防災計画（地震・津波災害対策編）修正案 新旧対照表（抄）
- ・資料 1-3-3 仙台市地域防災計画（風水害等災害対策編）修正案 新旧対照表（抄）
- ・資料 1-4 仙台市地域防災計画 パブリックコメント実施結果
- ・資料 2-1 平成28年度 仙台市水防計画（案）について
- ・資料 2-2 避難所運営マニュアル（別冊）大雨時避難・開設編
- ・資料 2-3 仙台市の津波対策

## Ⅶ 会議経過

### 1. 開 会

### 2. あいさつ 奥山市長

### 3. 議事

- 仙台市防災会議条例第 3 条第 3 項の規定に基づき仙台市防災会議会長の奥山市長が議長とされた。
- 議事録署名委員として、東北電力株式会社仙台営業所長 小林 正明委員 及び株式会社東日本放送報道制作局長 佐藤 直樹委員を指名した。

[審議事項：仙台市地域防災計画の修正について]

- ・資料 1-1 に基づき、事務局（仙台市危機管理室減災推進課長）から説明
- ・資料 1-2、資料 1-3-1、資料 1-3-2、資料 1-3-3、資料 1-4 に基づき、事務局（仙台市危機管理室防災計画課長）から説明

#### 【ラジオパーソナリティ 板橋委員】

「資料 1-1 関東・東北豪雨の対応状況」の p4 避難状況についてだが、16,914 名に避難指示を発令しているのになぜ避難所が 1 箇所しか開いていないのか。16 の町丁目にまたがっているがどこに避難するように指示をしていたのか。

#### 【事務局：仙台市危機管理室減災推進課長】

羽黒台のがけ崩れにより 1 箇所の避難所開設を行った。

#### 【ラジオパーソナリティ 板橋委員】

避難指示を出された方々はどこへの避難を指示されたのか。

#### 【事務局：仙台市危機管理室防災計画課長】

補足すると、土砂災害に関する避難指示を羽黒台の災害に対して発令し、そのほか七北田川の上流に対しても避難指示を発令している。夜遅くだったため七北田川周辺は暗く、正確な氾濫の状況がわからないため、避難指示の際は自宅の二階以上への垂直避難を呼びかけている。避難指示に伴う避難所の開設は行っていない。

#### 【ラジオパーソナリティ 板橋委員】

193 箇所に避難所担当課が設置されたとのことだが、避難所担当職員は何名か。

#### 【事務局：仙台市危機管理室防災計画課長】

避難所担当課制度は今回の大雨で作成したものではなく、東日本大震災後にできたものである。現在 193 箇所の指定避難所があり、それらを担当する避難所担当課職員全員が担当職員であると考えている。

避難所運営は避難所担当課の職員がローテーションを組んで担当することから、課に所属している職員全てとなる。

**【ラジオパーソナリティ 板橋委員】**

参集に時間がかかったことの改善として、開設に避難所担当職員があたることで問題点を解決するということがあったが、わかりやすく教えてほしい。

**【事務局：仙台市危機管理室防災計画課長】**

開設に合わせて、全ての職員が参集することにはなっておらず、参集する当番を決めている。土砂災害警戒情報が発表されると、その者が担当する避難所へ向かい、開設の準備をし、その後、避難準備情報や避難勧告を発令し、市民の方が避難所へ避難する。

昨年の大雨時は避難所へ向かうタイミングが職員と市民で同時であったため、避難所開設が間に合わず市民の方を待たせることがあった。まずは職員を避難所へ派遣し準備する。その後、避難情報で市民の方が避難所へ避難するという見直しを行った。

**【ラジオパーソナリティ 板橋委員】**

災害発生時にホームページにアクセスが集中したことで、ホームページがパンクしたことについてはどのような対策をしているのか。また、想定をどの程度と考えているのか。

**【事務局：仙台市危機管理室危機管理課長】**

ホームページは昨年サーバーの増強を行っている。具体的な数字は押さえていないが、繋がらない状況にならないように増設していると伺っている。また、市民が居住している地域に避難勧告が発令されているか確認するためにホームページを見ることもあったことから、ホームページに加えて避難情報ウェブサイトを作成し、避難勧告の状況や近隣の避難所はこちらから確認できるようにした。

**【ラジオパーソナリティ 板橋委員】**

その件は周知しているのか。

**【事務局：仙台市危機管理室危機管理課長】**

本日から開設しており、地元紙で掲載されている。また、6月12日の総合防災訓練において一部の避難所で訓練と付して避難情報を発表するなどして、周知をする予定である。

**【特定非営利活動法人イコールネット仙台代表理事 宗片委員】**

「資料 1-1 関東・東北豪雨の対応状況」の課題で、避難所の開設方法等について一部の地域で混乱が見られたとあるが具体的にはどのようなことか。

また「資料 1-4 パブリックコメント実施結果」で当初から地域団体が参加することもできるとあり、その際は早期の段階とあるが、土砂災害の警報が出た段階を指しているのか。

**【事務局：仙台市危機管理室防災計画課長】**

大雨時の避難所の開設に地域団体に関わるのかどうか明確ではなかったため、地域によって町内会長が大雨の中開設のために避難所へ参集したことや、朝になって地域の避難所の開設を知ったということもあった。

このような課題から、大雨時の避難所の開設については基本的に市職員が行う。地域団体が避難所に来ない代わりに、避難情報や避難所の状況は町内会長へ知らせるということを確認にした。

また、地域団体参加のタイミングは、市職員が参集するタイミングである土砂災害警戒情報の発表が望ましい。ただし、自宅が近いなど個々の状況もあるため、地域ごとの協議で定めていただきたい。

**【議長】**

仙台市地域防災計画（案）は原案の通り承認することとしてよろしいか伺う。

**【委員一同】**

異議なし。

**【議長】**

原案の通り承認とする。

4. 報告事項

① 平成28年度 仙台市水防計画（案）について

・資料2-1に基づき、事務局（仙台市危機管理室防災計画課長）から説明

② 避難所運営マニュアル（別冊）大雨時避難・開設編の作成について

・資料2-2に基づき、事務局（仙台市危機管理室防災計画課長）から説明

③ 津波避難対策の進捗状況について

・資料2-3に基づき、事務局（仙台市危機管理室防災計画課長）から説明

5. その他

・配布資料「熊本地震に係る本市の対応状況について（6月1日時点）」に基づき、事務局（仙台市危機管理室危機管理課長）から説明

**【公益財団法人せんだい男女共同参画財団理事長 木須委員】**

仙台市地域防災計画で女性支援センターを立ち上げることに定めているため、仙台市に熊本市視察を要望し、現地で視察を行った。

その時の報告であるが、仙台市の避難所担当職員は東日本大震災で避難所運営を行っていたため、それらの経験が次の災害に役立っていると感心した。併せて、女性支援という課題については、熊本市でも支援の動きが見られた。また、避難所運営委員会に女

性を参加させるようにというチラシを配布した。

**【議長】**

事務局からもあったが 6 月 12 日には仙台市民防災の日ということで総合防災訓練を実施する。昨年の教訓に鑑み、水防という意を用いた訓練としていくため、関係機関の皆様方や市民の方に多く参加していただきたい。

以上で議事の一切を終了する。

**6. 閉 会**